

## 令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

令和5年7月31日に文部科学省から提供された全国学力・学習状況調査結果について、上野原市の分析結果がまとまりましたのでお知らせします。

本調査は、本年4月18日に全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることなどを目的として、小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に実施されました。

内容は、教科に関する調査（小学校：国語 算数、中学校：国語 数学 英語）と生活習慣や学習環境等に関する調査が行われ、市内4校の小学校第6学年の児童113名、3校の中学校第3学年の生徒121名が参加しました。

この調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面ではありますが、教育委員会としましては、今後、この分析結果を生かしながら、児童生徒の学力や生活習慣の向上を図り、教育委員会教育方針であります「確かな学力と豊かな心の育成を目指した教育の充実」の実現に向けて、なお一層の教育活動を推進していきたいと考えています。

子どもたちの健やかな成長のためには、家庭、地域の協力が欠かせませんので、引き続きご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、各学校における教科に関する考察と今後の対策等については、個人面談や学校だよりなどにおいて保護者の皆様にお知らせする予定です。

上野原市教育委員会

### ○教科に関する調査の状況について

	国語	算数・数学
小学校6年生	国とほぼ同等	国とほぼ同等
中学校3年生	国とほぼ同等	国とほぼ同等
	英語	
中学校3年生	国とほぼ同等	

\*全国学力・学習状況調査では、主として「知識」に関するA問題と主として「活用」に関するB問題に分けて調査を実施してきましたが、令和元年以降は新しい学習指導要領の趣旨を踏まえ、A問題B問題という区分を見直し、知識・活用を一体的な問題として調査を実施することになりました。

\*英語は平成31年度（令和元年度）から追加。英語は3年に1度程度の実施。

## ○教科に関する考察と今後の対策

### 【小学校国語】

できている点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。</li> <li>・ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。</li> </ul>

課題となる点	今後の対策
<p>1) 必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心をとらえること。</p> <p>2) 日常よく使われる敬語を理解していること。</p>	<p>1) インタビュー活動を国語の授業以外でも学校生活全般で行っていく。友達同士、保護者、教職員、地域の人、見学先の人など学年に応じて繰り返し行っていく。また、準備された原稿を使用したインタビューから始め、原稿なしで自分が聞きたいことを相手に伝えながら、話し手が伝えたいことを聞き取るなどインタビュー活動の質の向上も意図しながら行っていく。</p> <p>2) 特別な言葉で表現する尊敬語と謙譲語を、授業で学んだ後も定期的にプリント等で復習する。また、児童が敬語を日常的に耳にしたり使用したりする機会を設け、自然と身につくようにしていく。家庭とも連携し、目上の人と話をするときなどに、敬語を意識的に使用してみようと児童と保護者に呼びかけていく。</p>

### 【小学校算数】

できている点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 台形の意味や性質について理解していること。</li> <li>・ 「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ること。</li> </ul>

課題となる点	今後の対策
<p>1) ( ) を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ること。</p> <p>2) 正三角形の意味や性質について理解していること。</p>	<p>1) 文章題の文意を読み取る力をつける。一斉指導で文意の説明をするだけでなく、個別の対応も行いながら、一人の力で文意を読み取れるようにしていく。また、身の回りの課題を算数で解決する機会を増やしたり、友だちに数式の意味を自分の言葉で説明する機会を作ったりして、式と場面が関連していることを意識させていく。</p> <p>2) 図形の特徴を理解させるために、直接図形を操作させたり、ICT を活用し間接的に操作させたりする算数的活動をたくさん行う。また、解答類型を見ると、問われていることを理解できていないことがわかるため、1) 同様に文意を読み取る力をつける。</p>

【中学校国語】

できている点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめること。</li> <li>・文章の中心的な部分と付加的な部分について、叙述を基に捉え、要旨を把握すること。</li> <li>・文脈に即して漢字を正しく書くこと。</li> </ul>

課題となる点	今後の対策
<p>1) 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと。</p> <p>2) 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。</p> <p>3) 具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること。</p> <p>4) 文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。</p>	<p>1) 事実と意見を区別し、事実（根拠）に基づいて主張（意見）を述べるよう指導する。また、授業段階から、根拠を明確にして発表するよう指導する。</p> <p>2) 文章の構成や展開、表現がもたらす効果について、違う構成や展開、表現を用いた文章と比較して捉えるよう指導する。</p> <p>3) 事例を挙げさせたり、物事の共通点を考えさせたりして、具体的な思考と抽象的な思考になれるよう指導する。（「例えば」「つまり」という接続詞を用いて短文を作る指導を行う。）</p> <p>4) 文章を読み、自分自身や現在の社会状況と結びつけて考えたことを、相互に発表、評価し合うよう指導する。</p>

【中学校数学】

できている点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然数の意味を理解していること。</li> <li>・空間における平面が同一直線上にない3点で決定することを理解していること。</li> <li>・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ること。</li> <li>・事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈すること。</li> <li>・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。</li> </ul>

課題となる点	今後の対策
<p>1) 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明すること。（数・関数の領域）</p> <p>2) 結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明すること。（数の領域）</p>	<p>1) 事柄が成り立つことの説明を振り返り、新たに成り立ちそうな事柄を予想する活動を取り入れる。予想が成り立たない場合にも、それまでの問題解決の過程や結果を基にして、その理由を考察したり、結論が成り立つための前提を捉えたりする活動を取り入れる。また、様々な問題を表、式、グラフを相互に関連付けて考察するなど、数学的に説明する活動を充実させる。</p> <p>2) 式の変形やその式の意味を理解でき、その事柄について順序よく説明できるよう指導する。また、結論が成り立つ理由を説明できるように、多くの式の説明問題に取り組み、指導する。</p>

<p>3) 四分位範囲の意味を理解していること。 (データの活用の領域)</p> <p>4) ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明したり、条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ったりすること。(図形の領域)</p>	<p>3) 用語の意味を確実に理解させ、四分位範囲を利用してデータの特徴を読み取ったり、用語を使って説明できたりするよう指導する。</p> <p>4) 仮定と結論を明確にして、証明の道筋を理解できるように多くの図形の問題に取り組み、指導する。予想や事柄が成り立つ理由を話し合う場面や条件を変えた場合に結論が成り立たなくなる理由を発表し合う活動に取り組む。 このとき、条件を変える場面でコンピュータ等を活用してじっくりと観察させ、いくつかのパターンを示しながら、証明することができるよう指導する。</p>
---	---

【中学校英語】

<p>できている点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むこと。</li> <li>・社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くこと。</li> <li>・疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くこと。</li> <li>・社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すこと。</li> </ul>
--

課題となる点	今後の対策
<p>1) 情報を正確に聞き取ること。</p> <p>2) 日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ること。</p> <p>3) 社会的な課題について、短い文章の要点を捉えること。</p> <p>4) 文法を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用できること。</p>	<p>1) 音声や語彙、表現、文法や言語の働きなどを理解させ、自然な早さで話される音声を聞いて、語と語の連結による音声変化や強勢による英語特有のリズム、イントネーションに慣れさせる。また、意味のまとまりを意識しながら区切って聞いたり音読したりする活動を行う。</p> <p>2) 自分の置かれている状況を把握できているかどうかと、目的に応じた必要な情報は何かを理解しているかどうかを確認した上で、それらに関連する語句や表現に着目して、必要な情報を聞き取るよう指導する。</p> <p>3) 社会的な話題に関する英文全体を通して読み、複数の情報の中から書き手が最も伝えたいことは何かを判断できるよう指導する。また、繰り返し用いられている語句や同じ内容を言い換えている表現や文章中の問いかけなどを手掛かりにして最も大切な語や文を選んだり、段落の文章構成を把握するよう指導する。</p> <p>4) 文法指導を言語活動を効果的に関連付けて、場面や状況の設定を工夫し、言語活動を通して発話の正確さを高めたり、質問に対して不適切な間を置かずに応答したりすることができるよう指導する。</p>

# 令和5年度 児童生徒質問紙調査 の状況

表の数値は、選択肢のうち「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を肯定的な回答として割合を示しました。

\* 次の調査結果は、重要で関心が高いと思われるものと課題となるものを抜粋しています。

## 1 生活習慣等について

〔単位：％ 以下同じ〕

朝食を毎日食べていますか			
	市	全国	差
小	97.3	93.9	3.4
中	90.3	91.2	-0.9

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか			
	市	全国	差
小	76.1	81.0	-4.9
中	76.5	78.0	-1.5

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか			
	市	全国	差
小	91.2	90.5	0.7
中	92.7	91.3	1.4

## 2 自己有用感、挑戦心、達成感、規範意識、幸福感について

自分には、よいところがあると思いますか			
	市	全国	差
小	90.2	83.5	6.7
中	78.0	80.0	-2.0

将来の夢や目標を持っていますか			
	市	全国	差
小	85.8	81.5	4.3
中	57.7	66.3	-8.6

学校に行くのは楽しいと思いますか			
	市	全国	差
小	89.4	85.3	4.1
中	76.5	81.8	-5.3

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか			
	市	全国	差
小	98.2	96.9	1.3
中	88.6	95.5	-6.9

人が困っているときは、進んで助けていますか			
	市	全国	差
小	96.4	91.6	4.8
中	91.0	88.1	2.9

## 3 地域や社会に関わる活動について

今住んでいる地域の行事に参加していますか			
	市	全国	差
小	51.3	57.8	-6.5
中	52.0	38.0	14.0

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか			
	市	全国	差
小	77.0	76.8	0.2
中	67.4	63.9	3.5

外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思いますか			
	市	全国	差
小	73.4	72.5	0.9
中	69.1	66.8	2.3

・生活習慣等については、国とほぼ同等です。前年との比較で、小学生は朝食が+0.9ポイント 就寝時刻が-4.4ポイント 起床が+3.5ポイント、中学生は朝食が+5.3ポイント 就寝が-1.2ポイント 起床-0.1ポイントとなっています。中学生の朝食の改善と小学生の就寝の低下傾向が全国平均との比較に現れています。

・自己有用感等について、多くの設問で全国平均を小学生は上まわり中学生は下まわる傾向がみられます。前年との比較で、「自分には、よいところがあると思う」小学生+12.6ポイント、「将来の夢や目標を持っている」中学生-8.3ポイント、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」中学生-8.7ポイントで、今年度の全国平均との比較に現れています。学校規模の変化に対応しながらのキャリア教育や生徒指導が重要になります。

・「地域の行事に参加していますか」の設問で中学生が全国との比較で+14.0ポイントです。「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の設問では、前年との比較で、小学生+15.4 中学生+28.8であること、また地域行事が再開されつつあることから今後もその改善が期待できます。外国への興味関心は全国とほぼ同等の結果となっています。

時間や回数を問う質問には国の報告書にある基準を参考にしています。

#### 4 学習習慣、学習環境について

学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（1時間以上）			
	市	全国	差
小	53.1	57.1	-4.0
中	55.3	65.8	-10.5

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか			
	市	全国	差
小	74.4	70.7	3.7
中	57.7	55.0	2.7

学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（30分以上）			
	市	全国	差
小	26.5	37.3	-10.8
中	28.4	28.4	0.0

#### 5 ICTを活用した学習環境について

小5まで(中1・2の時に)受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週1回以上使用した。			
	市	全国	差
小	96.5	86.3	10.2
中	96.7	87.5	9.2

学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか			
	市	全国	差
小	98.2	95.1	3.1
中	93.5	93.3	0.2

#### 6 学習に対する興味・関心、理解度について

国語の勉強は大切だと思いますか			
	市	全国	差
小	99.1	94.2	4.9
中	95.1	92.4	2.7

算数や数学の勉強は大切だと思いますか			
	市	全国	差
小	93.8	94.2	-0.4
中	89.4	85.0	4.4

英語の勉強は大切だと思いますか (英語は4年に1度の調査)			
	市	全国	差
小	92.9	91.3	1.6
中	94.3	88.0	6.3

国語の授業の内容はよく分かりますか			
	市	全国	差
小	91.1	85.7	5.4
中	87.8	80.0	7.8

算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか			
	市	全国	差
小	85.9	81.2	4.7
中	77.2	73.3	3.9

英語の授業の内容はよく分かりますか(中学校のみ)			
	市	全国	差
小	/	/	/
中	78.8	63.9	14.9

- ・学習習慣等について、「家で自分で計画を立てて勉強していますか」は全国平均を上まわっています。反面授業以外で1時間以上勉強する児童生徒は全国平均より低くなっています。前年との比較で、中学生の1時間以上の学習-8.1ポイント 小学生の30分以上の読書-12.6ポイントです。これらは今年度の全国平均との差に現れています。
- ・ICTを活用した学習環境について、いずれの設問とも全国平均と同等以上となっています。授業でのICT機器使用の設問では、「週3回以上使用した」割合でみると小学生が90.3% 中学生が81.3%となり、いずれも全国との比較で+20ポイント以上です。GIGAスクール端末の活用が定着している様子が見られます。
- ・学習に対する興味・関心、理解度について、「国語の勉強は大切」「国語の授業がよく分かる」は小学生中学生とも全国平均を上まわっています。これらは前年との比較で、+0.9ポイントから+12.8ポイント改善されています。「算数や数学の勉強は大切」「算数や数学の授業がよくわかる」は全国平均とほぼ同等か上まわっています。小学生の「算数の授業の内容はよくわかる」は、前年との比較で+27.2ポイント向上しています。英語についての調査でも、全て全国平均を上まわっています。